

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
350014	X-21-B-3-350014	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
国際協力論	山田 裕史			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

国際協力は、何のために、誰が、どのように行うものなのでしょうか。本講義の目的は、①国際協力の歴史的展開をおさえたうえで、②国際協力の主体およびその活動の現状と課題を理解し、③グローバル化する世界に生きる市民として、私たち一人ひとりが実践できる国際協力のかたちを考えることにあります。

具体的には、国連をはじめとする国際機関や各国政府、NGOが行う国際協力を、国際開発（＝開発援助分野）と国際平和協力（＝平和構築分野）に大別し、各分野における具体的な取り組みと課題、そしてこれらの活動を行う各主体がもつ強みと弱みについて学びます。さらに、私たちの日常生活がどのように国際協力につながるのか、あるいは否定的な影響を与えるのかを認識するために、企業の社会的責任と責任ある消費者行動、持続可能な生活様式などについてもとりあげます。

また、ディプロマポリシーとの関連では、本授業は国境を越えた個別具体的問題への認識を深める国際教養の体得に資するものと位置づけられます。

各回の授業内容

第1回 【授】 持続可能な開発目標（SDGs）：よりよい未来を目指すための世界共通の17の目標 【前・後】 【必要な時間：4時間】授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと	第9回 【授】 「善意は善行を保証しない」 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと
第2回 【授】 ワークショップ（1）：「援助」することの意味 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと	第10回 【授】 どのようにニーズを把握するか 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと
第3回 【授】 なぜ、どのように国際協力を行うのか 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと	第11回 【授】 ワークショップ（2）：貿易ゲーム 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと
第4回 【授】 国際協力の歴史的展開（1）：近代化にもとづく国際開発とそれに対する批判 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと	第12回 【授】 市民生活と国際協力（1）：フェアトレード 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと
第5回 【授】 国際協力の歴史的展開（2）：構造調整政策から人間開発、そしてMDGsへ 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと	第13回 【授】 学外講師による講演（予定）：国際協力の最前線 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと
第6回 【授】 国際協力の歴史的展開（3）：持続可能な開発目標（SDGs） 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと	第14回 【授】 市民生活と国際協力（2）：ファストファッションはなぜ安いのか？ 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと
第7回 【授】 日本の国際協力NGOの歴史的展開 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと	第15回 【授】 市民生活と国際協力（3）：多様化する国際協力の担い手：CSRとソーシャル・ビジネス 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと
第8回 【授】 開発援助とは？ 【前・後】 【必要な時間：4時間】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配布資料の該当箇所を熟読しておくこと	第16回 【授】 期末レポート提出

成績評価方法

期末レポート（60%）と授業中のリアクションペーパー（40%）を合わせて総合的に評価します。なお、小テストに対するフィードバックとして、授業中に補足の解説や質問に対する回答を行います。

教科書・参考書

教科書はとくに指定せず、各テーマに応じたレジュメや文献、資料を授業中に配布します。また、本講義でとりあげるテーマ別に分類した参考書リストを初回の授業で配布しますが、本講義でとりあげるテーマの概要を把握するために、次の3点（いずれも手軽に読める新書）を一読しておくことを勧めます。

- (1) 北野収『国際協力の誕生：開発の脱政治化を超えて「改訂版」』創成社、2017年
- (2) 長有紀枝『入門 人間の安全保障』中公新書、2012年
- (3) 篠田英朗『平和構築入門：その思想と方法を問いなおす』ちくま新書、2013年

受講に当たっての留意事項

専門科目であるため、平和学、国際関係論、世界史（近現代）、異文化理解など、関連する基礎科目を履修済みであることが望ましい。

ほぼ毎回、くじ引きで座席を決め、4人1組のグループを作り、グループ・ディスカッションやワークショップを行います。

受講者には、事前に配布する文献や資料を精読することや、ワークショップやグループ討議・発表での発言など、事前の準備と授業内での議論への積極的な参加が求められます。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
○	国際協力NGOでプロジェクトに従事した経験を授業内容に反映する。	○

学習到達目標

- (1) 国際協力がどのように発展してきたのか、その歴史的背景を理解する。
- (2) 国際協力のアクターにはどのようなものがあり、それぞれどのような活動を行い、どのような強みや課題をもっているのかを理解する。
- (3) 地球市民として日常生活において実践できる、自分なりの国際協力のかたちについて説明することができる。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習